

新番組 女ばかり南米大陸を行く



序に変えて 国際協力事業団理事（中南米代表）新志 正夫

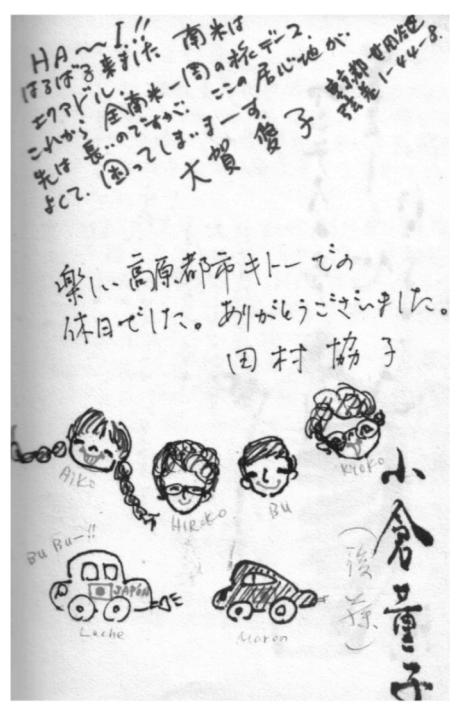
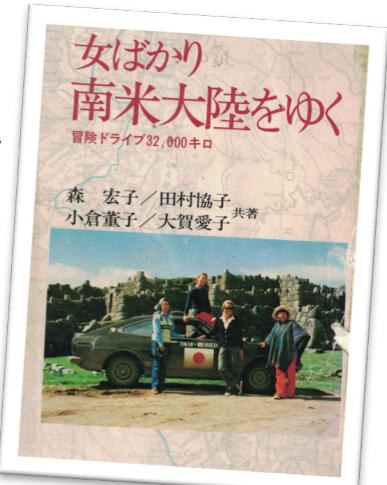
本書の執筆者・森・小倉・田村・大賀の四君がリオデジャネイロの拙宅に到着したのは、もう直ぐ有名なカーニバルが始まろうという、2月3日の夕暮れのことであった。南米大陸を縦走し、真っ黒に日焼けした顔から白い歯をのぞかせて、「今晚は、お世話になります」とはいってきた時、私は長い間待ちに待った娘たちが帰ってきたような、ほっとした安堵とともに、何かあった圧倒される思いがして、しばらくはただ呆然として眺めていた。女ばかりの4人が2台の車を駆り、3万数千キロを走破して、何の恙もなく予定の日時にピタリと我が家に着いたことに、驚きとともに少なからぬ恐れさえ感じたのであった。

南米は日本にとって世界最大の親戚ということができる。ブラジルを始めとする南米諸国の人々は、日系人のことを“緑の魔境に農業を起こしてくれた恩人”として尊敬している。一方、有識者は別として、南米が未開の地であり、豹や蛇やワニの住むジャングルがあり、コーヒーの主産地でインカの遺跡がある、といった程度の知識しかないとすれば悲しいことである。そんな時に、女ばかり4人の勇敢な一団がやってきて南米大陸を走り回り、その眼で多くの国々を見てきた。優雅な森ちゃん、暖かい小倉ちゃん、繊細な田村ちゃん、勇敢な大賀ちゃん。その4人の目に、南米大陸がどう映ったのかを是非とも知りたい。

あとがき 南米大陸女子縦断隊長 森 宏子

この本は、私たち“南米大陸女子縦断隊”が、1974年1月から1975年3月まで約3か月半、南米8カ国を、3万2千キロにわたって冒険ドライブした時の記録です。私たちは南米関係の資料が思いのほか少ないので驚き、今更ながら地球の裏側のこの大陸が、日本人にとって距離的にも感覚的にも非常に遠い土地であることを痛感しました。南米の印象を一口で言えば、とにかく“広い”的に尽きます。しかもその広い土地には石油や鉱石などの天然資源が山と埋もれ、緑豊かな大草原には、まだ何億頭もの牛を飼うゆとりがあるそうです。対日感情のよいことも無類で、こんなに日本人がモテるのは、いろいろ理由もあるでしょうが、南米各地で働き続けてきた多数の日系の方々の努力と実績によるところが大きいようです。今後もこの友好ムードを傷つけることなく、夢と未来にあふれたこの大陸とのお付きを深めていきたいものだと思います。長い、厳しい旅ではありましたが、よく食べ、よく眠り、よく動き、よく笑って、楽しい旅が続けられたのは、私たちが健康に恵まれ、仲間同士の厚い信頼感で結ばれていたからでしょう。ひとりひとりの能力はさほどではなくても、皆で集まれば素晴らしい力を発揮できる・・・。こんな仲間を持っていることは、人生における大きな幸せだと思います。これからも今までの体験を生かし、見知らぬ国、見知らぬ人たちを訪ねてみたい・・・そんな夢を持ち続けていくつもりです。

（朗読担当 長岡絵里子）



サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫	毎週土曜日放送	淀橋教会 峯野龍弘主管牧師	毎週日曜日放送
2月05日	マリンバの調べ（ショパン他）	2月06日	リスナーからの「お便り交換の時間」
2月12日	女ばかり南米大陸を行く（1）	2月13日	聖書遊覧バス：出エジプト記：モーセ物語（8）
2月19日	クリスチーンのアメリカ発見！（ニューヨーク）	2月20日	聖書遊覧バス：出エジプト記：モーセ物語（9）
2月26日	南米ふれあいの旅 梶村均次（1）	2月27日	聖書遊覧バス：出エジプト記：モーセ物語（10）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15410kHz (再放送) 午後8時～8時30分 11905kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)

